

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和6年度 第2回 相模原市青少年問題協議会		
事務局 (担当課)	こども・若者支援課 青少年学習センター 電話042-751-0091 (直通)		
開催日	令和6年11月12日 (火)		
出席者	委員	20人 (別紙のとおり)	
	事務局	7人 (こども・若者未来局長、こども・若者支援課長外5人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 委員紹介 3 議題 (1) 協議事項 会長及び副会長の選任について (2) 報告事項 ア いじめ防止等に関する施策と取組について イ 相模原市子どもの権利条例と子どもの権利相談室について ウ その他 4 その他		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 開会

2 委員紹介

3 議題

(1) 協議事項

会長及び副会長の選任について

「相模原市青少年問題協議会規則」第3条に基づき、委員の互選により次の通り選任した。

会長 井狩芳子委員、副会長 農上勝也委員

(2) 報告事項

ア いじめ防止等に関する施策と取組について

令和5年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」についての報告及び令和6年度のいじめ防止等に関する施策と取組について、学校教育課より報告を行った。

(齊藤委員) 不登校児童生徒の数のうち、いじめが起因とされている児童生徒の数は把握されているのか。

(事務局) 把握はしているが、この調査では公開されていない情報であるため、正確な数値をお伝えすることはできない。

(久保委員) いじめの定義について、一対一の喧嘩等もいじめに含まれるのか。

(事務局) 同程度の間柄で同程度の行為があったものは喧嘩として捉え、立場が異なり行為も異なる場合は、いじめとして捉えるよう定義されている。

(大塚委員) コロナ前のいじめ認知件数に戻ったということだが、問題が解消された件数は把握されているか。

(事務局) 100パーセント近くが解消しているが、一定数は継続対応となっている。いじめの解消については、被害者に対する行為がやんでいる状態が、概ね3か月は続いていることとなっているため、いじめ行為が行われた際に、事実確認・指導、保護者へ報告をし、その後、行為が止んでいるかどうかを3か月後に再度確認し、解消の判断を行っている状態である。

(大塚委員) 教員不足の中、教育委員会はどのようにフォロー体制を整えているのか。

(事務局) 子どものいじめに関する審議会の中でも教員不足に関して指摘をいただいている。中学校では、生徒指導主任が配置されているが、小学校でも、児童支援専任教諭を配置しており、担任を持たず、授業の持ちコマ数を制限した上で、いじめ問題等に組織として対応できるようにしている。

(齊藤委員) いじめについて、ほぼすべて解消しているということだったが、再発することはあるのか。また、再発がほとんどないのであれば、新たないじめが都度発生しているということになるのか。

(事務局) 特性上同じことを繰り返してしまう児童生徒もいるため、継続的に指導している。いじめの定義からすると、様々な行為がいじめ行為に該当するため、学校生活・集団生活を送るにあたって生じる人間関係でのいじめについて、認知が高くなっている分、件数が増えている。なお、学校外に起こった行為もいじめとして、できる限り対応している状態である。

(井狩委員) 市内の多くの子どもたちと関わる委員の皆様が、様々な眼差しで支えていただきたいと思っている。

イ 相模原市子どもの権利条例と子どもの権利相談室について

相模原市子どもの権利条例の概要及びさがみはら子どもの権利相談室（さがみみ）について、事務局より説明した。

(大塚委員) SNS等での相談受付はしていないのか。コロナ禍以降携帯電話の使用時間が増えており、文字であれば、発信できる子どももいるため、検討してほしい。

(事務局) さがみはら子どもの権利相談室は、現在、電話か来所面談の受付となっている。今後は、子どもたちが声を発信しやすい環境について、実情も鑑みながら検討していくことが必要だと考えている。

ウ その他

(郡司委員) 現在いじめの多くはSNS等の学外でのトラブルであり、学級担任だけではなく、学校全体で対応しているが、40代の核となる職員が不足しているほか、教務主任や副校長が担任を持たざるを得ない状況である。子どもたちのためにも地域に対し、今後も協力依頼をし、つながりを大切にしていきたい。

(齊藤委員) 学校により様々な事情があると思うが、PTAや地域の方々が学校を支援する体制になっているのかどうか、なっていないのであれば、そうさせるような流れを作る必要があると思っている。

(農上委員) どの学校でも多種多様な課題があり、校長をはじめ、先生方に対応していただいているのが実情である。教育委員会としては、学校の実情等の把握が大事であると考えているため、学校の実態に応じ、どう支援できるかを検討しているところである。

学校への支援体制について、現在は、コミュニティスクールを導入し、地域の方々を巻き込んだ学校作りを進めているところだが、今後も更なる

支援体制の構築に努めていきたい。

4 その他

(井狩委員) 本日、和泉短期大学、相模女子大学高等部の学生が制作に携わっているオレンジリボンを配布させていただいた。11月は、オレンジリボン・児童虐待防止推進月間であるため、ぜひこの取組を広めていただきたい。

以 上

令和6年度 第2回青少年問題協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	井狩 芳子	和泉短期大学 特命教授	会 長	出席
2	石川 壽々子	相模原市社会福祉協議会 理事		出席
3	大木 恵	相模原市自治会連合会 会計		欠席
4	中村 洋子	相模原市保護司会協議会 副会長		出席
5	大久保 宗俊	相模原市公民館連絡協議会 会長		欠席
6	宮地 よし子	相模原市青少年健全育成組織連絡協議会 会長		出席
7	齊藤 一城	相模原市青少年指導委員連絡協議会 会長		出席
8	齊藤 賢一	相模原市子ども会育成連絡協議会		出席
9	大塚 和夫	相模原市PTA連絡協議会 書記		出席
10	大山 政弘	相模原人権擁護委員協議会		出席
11	大塚 學	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
12	河合 優輝	相模原市青年会議所 副委員長		出席
13	小野崎 雄一	相模原警察署生活安全第一課 課長		出席
14	大村 天志	相模原南警察署生活安全課 課長		出席
15	安武 誠一郎	相模原北警察署生活安全課 課長		出席
16	久保 武次	津久井警察署生活安全課 課長		出席
17	茂泉 尚子	横浜地方法務局相模原支局 総務課長		出席
18	佐藤 和彦	神奈川県立相模原弥栄高等学校 校長		出席
19	桂徳 泰彦	相模原市立小学校長会 (くぬぎ台小学校校長)		出席
20	郡司 孝明	相模原市立中学校長会 (相模台中学校校長)		出席
21	農上 勝也	市教育委員会学校教育部 部長	副会長	出席
22	江成 浩史	市こども・若者未来局児童相談所 所長		出席